

## 大阪市立大学 COC 事業について プレスリリース参考資料

公立大学法人 大阪市立大学

プロジェクトマネジメントオフィス

### ■大阪市立大学 COC 事業

【大阪の再生・賦活と安全・安心の創生をめざす地域志向教育の実践】

#### COC 事業概要

- 平成 27 年度スタートを予定している、大阪市立大学・大阪府立大学共同運営のコミュニティ再生(CR)副専攻が、この事業の中心制度となっています。1 回生から 3 回生の間に、地域関連科目を座学だけではなく、地域に正面から向き合う実習や演習形式の実践的な授業が展開されます。



- 重層化する地域課題に応じて、再生とエンパワー、セーフティネット構築を軸に据え、再生と持続可能な成長ドライブの注入を目指す【地域活性】、建築ストック、都市の空間・地理的資源を都市再生に生かすことを目指す【地理・空間】、新たなセーフティネットの構築を目指す【地域福利】、多様で複層的都市文化の再評価・活用を目指す【地域・文化資源】、安全と安心の地域づくりを目指す【環境・防災】の5分野において実践教育として推進されます。

### ■COC 事業第2回目フォーラム

【地域再生と都市の大学】

COC 事業の柱となる5つの重点的領域の中の、「地域・文化資源」にフォーカスをあて、都市の大学と遠隔地域との交流の成果を報告いたします。

十津川村(奈良県吉野郡)と大学は、これまで教育や研究で、学生とともに現地でのフィールドワークを織り込みながら展開してきました。

- 「木域学」とは、木を主題とした先駆的な地域学であり、生活・生産・文化・自然など、地域を形成する要素を総合的に理解し、地域資源の活用方法の発案と実践を目的としています。地域再生から木造建築や木製品の普及に有用な地域・環境デザインを包括して行く試みです。(川上＝生産地、川下＝消費地)
- 「廃材の活用」とは、地域資源である、木材だけではなく、通常は廃材となるような流木などを活用し、居住、生活支援ツールとしての再価値化する試みです。
- 「盆踊りの活用」とは、重要無形民俗文化財である「大踊り」の観光資源への展開の可能性と文化継承の新たな取り組み手法を紹介します。

世界文化遺産や重要無形民俗文化財など豊かな資源をもちながら、高齢化がすすみ、さまざまな地域課題をかかえている十津川村と大学の関わり方を考える機会とします。

近距離地域を中心とする、COC 事業にあらたな視野を提供することができると考えます。